



2020年8月13日

各 位

会 社 名 キュービーネットホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 北野 泰男
(コード番号：6571 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 松本 修
T E L 03-6418-9190

連結業績予想と決算値との差異及び個別業績の前期決算値との差異に関するお知らせ

2020年5月15日に公表しました2020年6月期（2019年7月1日～2020年6月30日）の通期の連結業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、通期の個別業績と前事業年度の実績値にも差異が生じたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の差異について

(1) 2020年6月期 連結業績予想の差異（2019年7月1日～2020年6月30日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,672	194	47	49	3.88
実績値 (B)	19,089	239	98	104	8.29
増減額 (B-A)	417	46	51	55	
増減率 (%)	2.2	23.8	110.6	113.4	
(参考) 前期実績 (2019年6月期)	20,864	1,969	1,895	1,272	102.64

(2) 差異の理由

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、国内については、2020年4月18日から全店舗の臨時休業を行っていましたが、5月13日より順次営業を再開し、6月以降は全店舗の営業を再開しております。この営業再開が想定よりも早く進んだこと、及び、営業再開直後の来店客数が大幅に増加したこと等により、売上収益が前回発表予想より417百万円増の19,089百万円となりました。

また、当社及び当社の連結子会社であるキュービーネット株式会社では、2020年4月～5月の臨時休業期間中における従業員の給料について、想定に残業代等も含めて支給しております。この支給に対する国からの助成金収入は、2020年6月期の収益と見込んでおりましたが、支給決定及び入金が増加したことから、2021年6月期の収益計上となりました。

以上の結果、営業利益は46百万円増の239百万円、税引前利益は51百万円増の98百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は55百万円増の104百万円となりました。

2. 個別業績の差異について

(1) 2020年6月期 個別業績の差異 (2019年7月1日～2020年6月30日)

	営業収益	営業利益	税引前 当期純利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	565	170	170	159	12.90
実績値 (B)	353	△37	△37	△36	△2.92
増減額 (B-A)	△212	△208	△208	△196	
増減率 (%)	△37.5	—	—	—	

(2) 差異の理由

2020年6月期は、連結子会社からの剰余金の配当を見送ったため、営業収益は前期実績比212百万円減の353百万円、営業利益は同208百万円減の△37百万円、税引前当期純利益は同208百万円減の△37百万円、当期純利益は同196百万円減の△36百万円となりました。

以上